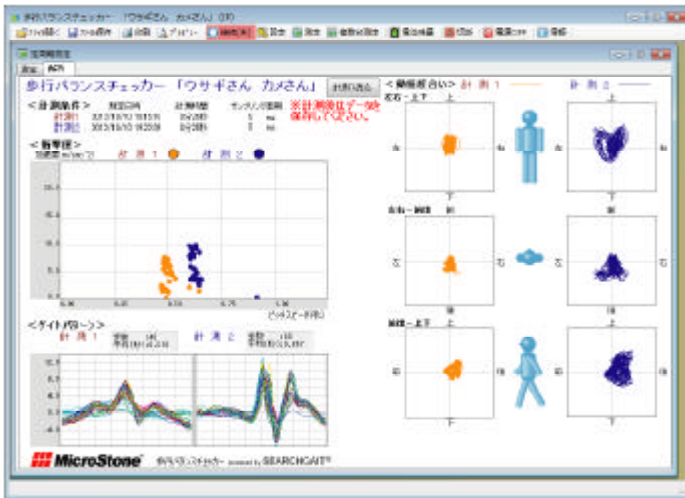


# 歩行バランスチェッカー 「ウサギさん カメさん」 商品構成

## 歩行バランスチェッカーソフトウェア 「ウサギさん カメさん」 MVP-UK-S

Powered by SEARCHGAIT®



- ・対応OS :Windows7 -Vista -XP 2000 (SP4以降) ,マッキントッシュは非対応です。Windows8は動作未確認です。
- ・データ計測 - 解析 - データ保存まで本ソフトウェアで可能です。歩行バランスチェッカーを使用する場合、8チャンネル小型無線モーションレコーダシリーズ標準添付ソフトウェア MVP-RF8-S」は不要です。
- ・本ソフトウェアは、コンピュータ1台へのライセンスとなります。一度設定を致しますと、原則としてコンピュータの変更はできませんので、インストール時に慎重にコンピュータをご選択ください。

本ソフトウェアには、三菱化学株式会社が開発した日常行動解析エンジン「SEARCHGAIT®」の機能の一部が搭載されております。SEARCHGAIT®は三菱化学株式会社社殿の登録商標です。

## 8チャンネル小型無線モーションレコーダ



8チャンネル小型無線モーションレコーダ MVP-RF8-GC

- ・データ計測器として、弊社「8チャンネル小型無線モーションレコーダ」シリーズが必要です。
- ・対応機種 MVP-RF8-AC/BC/GC/HC
- ・薄型で取り付けやすい「8チャンネル小型無線モーションレコーダmini MVP-RF8-GC」のご使用をお勧めいたします。

## ベルトアタッチメントベルト



ベルトアタッチメント MVP-RF8-ABL  
ロングベルト(100cm) MVP-RF8-LBL

- ・ベルトアタッチメントを8チャンネル小型無線モーションレコーダに取り付けると、3cm幅までのベルトを通せるようになります。
- ・ロングベルトは、伸縮性のベルトです。マジックテープで簡単に取り付け/外しできます。装着時の負担感も最小限にできます。

## Bluetooth-USBアダプタ



Bluetooth-USBアダプタ Parani-UD100

- ・コンピュータと通信を行うために必要です。
- ・通信距離は約30m (見通しが良い環境にて)
- ・Bluetooth規格品であれば他社品、あるいはコンピュータ内蔵のデバイスでも動作可能ですが、通信距離が10m程度の物がほとんどです。弊社推奨品のご使用をお勧めいたします。

## その他お客様にご用意頂くもの



- ・コンピュータはソフトウェアが動作するOSのものを選定願います。  
<ハードウェア推奨条件>
- CPU :AMD Sempron プロセッサ 1.80GHz以上
- メモリ :1GB以上
- HDD :2GB以上
- メディアドライブ :CD-ROM
- グラフィック :SiS Mirage (チップセット内蔵)以上
- 表示解像度 :1024 x 768 (XGA)以上
- USBポート :1以上
- ・計測時にプリンタもご用意いただくと、その場でレポートを印刷し被験者の方にお渡しができます。

# 計測の流れ

## 1. セットアップ (導入時 1回だけ実施 所要時間 10~ 20分)



- Bluetoothアダプタのソフトウェアと MVP-UK-Sのソフトウェアをインストールしてください。
- MVP-UK-Sを起動すると PCID発行画面になります。PCIDを弊社宛メールでお送りください。
- 弊社より 折り返しパスワードを発行いたします。パスワードを入力すると ソフトウェアが使用できるようになります。  
(パスワード発行に最大3営業日程度頂く場合がございます。)

## 2. 計測準備 (レコーダ起動の都度 1回だけ実施 所要時間 1~ 2分)



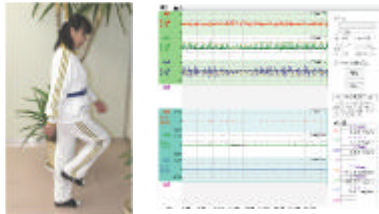
- 本体の電源をONし、ソフトウェアを起動し、接続ボタンをクリックし、本体とコンピュータの通信接続を行ってください。
- 設定ボタンをクリックし、Calibrationタブをクリックします。本体を、Y軸方向を上向きにして水平な机の上などに置いて、「上向き軸の初期値」を「0G」に設定し、キャリブレーションを実行してください。  
(計測時間が長くなる場合、また温度などの環境が変化する場合などは計測の間でキャリブレーションを行ってください。)

## 3. センサを被験者の方に取り付け (所要時間30秒 ~ 1分)



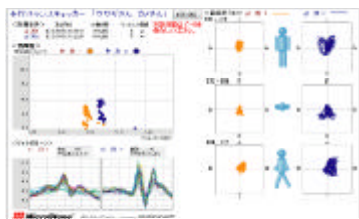
- 本体を被験者の方に取り付けます。
- Y軸が鉛直軸・上向きになるように取り付けてください。
- 推奨取り付け位置 第三腰椎(L3)~第四腰椎(L4)付近
- ベルトは少しきつめになるように固定してください。
- 固定後、センサがぐらつかないか確認してください。

## 4. 計測 ~ 被験者の方の歩行 (所要時間30秒 ~ 1分)



- 計測画面にしてください。
- サンプリング周期とデータ数を設定してください。
- 開始ボタンを押して、計測を開始してください。
- 被験者の方に、歩行をしていただいでください。  
<歩行時の注意>  
歩行距離 10m以上  
できるだけ直線上を歩行していただく  
計測を意識せず、普段どおり歩いていただく

## 5. 解析画面表示 ~ レポート印刷 (所要時間30秒 ~ 1分)



- 測定時に「停止」ボタンで計測を中止するか、設定時間が経過し計測が終了すると自動的に「解析」画面に移行します。
- データ保存する場合、計測時に「自動保存」機能で保存することをお勧めします。
- 解析の範囲を指定したい場合、「測定」タブの波形データから範囲指定すると、その部分だけ解析されます。
- 「解析」画面で「印刷」を実行するとレポート画面が印刷できます。

## 6. データ保存 (所要時間30秒 ~ 1分 / 手動で保存する場合)

A screenshot of a data export table showing columns for time, acceleration, and other metrics.

- データは計測時に「自動保存」機能を用いるとcsv形式で自動的に保存されます。(推奨)
- 計測終了後に、「保存」機能で手動で保存することも可能です。手動保存の場合、データ解析範囲を指定していると指定範囲のデータのみ保存することも可能です。
- 保存したデータは後で本ソフトウェアでデータを読み出せます。
- 8チャンネル小型無線モーションレコーダ標準添付ソフトウェア「MVP-RF8-S」でデータを読み出し、解析することも可能です。